



平成 23 年 12 月 27 日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 佐光 正義  
(コード：3880、東証第一部)  
問 合 せ 先 常務取締役 阿達 敏洋  
(TEL. 0896-23-9006)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

平成 21 年 7 月 30 日に公表いたしました標記開示資料に一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正理由及び損益影響額等

訂正理由及び損益影響額等は、平成 23 年 12 月 12 日公表の「監査法人による過年度決算調査の過程において指摘された事項に基づく過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」及び平成 23 年 12 月 14 日公表の「平成 24 年 3 月期第 2 四半期報告書及び過年度訂正有価証券報告書等の提出並びに平成 24 年 3 月期第 2 四半期決算短信の公表及び過年度決算短信の訂正の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成 19 年 3 月期から平成 24 年 3 月期第 1 四半期までのすべての決算短信等（中間・四半期決算短信を含む）を訂正し、本日（平成 23 年 12 月 27 日）公表しております。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多岐にわたるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付しております。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員



## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日  
上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社

コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井川 意高

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 魚田 敏夫

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 -

TEL 0896-23-9006

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	104,627	△10.5	5,336	27.9	3,590	17.4	972	39.8
21年3月期第1四半期	116,842	-	4,171	-	3,058	-	695	-

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.85	-
21年3月期第1四半期	5.53	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	716,158	130,200	15.0	864.88
21年3月期	706,003	126,561	14.8	844.85

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 107,190百万円 21年3月期 104,715百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	-	5.00	-	3.50	8.50
22年3月期	-	-	-	-	-
22年3月期 (予想)	-	4.00	-	4.50	8.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結 累計期間	205,000	△13.2	9,000	0.0	5,500	△9.8	2,000	15.9	16.14
通期	425,000	△8.8	20,500	10.2	13,000	16.1	3,500	841.3	28.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第1四半期 129,018,785株 21年3月期 129,018,785株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 5,082,050株 21年3月期 5,072,881株

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第1四半期 123,941,320株 21年3月期第1四半期 125,696,763株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社現時点で入手可能情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 平成21年4月30日に公表しました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも修正しました。業績予想に関する事項につきましては、本日公表の別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内経済は、米国発の金融危機に端を発した昨秋からの世界的な景気低迷が続き、雇用環境の悪化、個人消費の伸び悩みなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のなかで、当社グループでは、高付加価値商品の開発・拡販を推進し、既存設備の生産効率の向上や物流の合理化などの諸施策の実施により、収益力の強化を図りました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	104,627百万円	(前年同期比	10.5%減)
連結営業利益	5,336百万円	(前年同期比	27.9%増)
連結経常利益	3,590百万円	(前年同期比	17.4%増)
連結四半期純利益	972百万円	(前年同期比	39.8%増)

主な品種別の販売状況は、以下のとおりです。

新聞用紙は、広告出稿量の減少により頁数が減少し、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

印刷用紙は、各企業の広告宣伝費圧縮に伴いチラシ・カタログなどの需要が減少したことにより、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

衛生用紙は、「エリエールティッシュ180W」を30周年企画ボックスティッシュとして発売したこと、高付加価値品であるプリントトイレットティッシュのリニューアル等による配荷拡大を進めましたが、昨秋以降の経済環境の変化及び安い価格帯の輸入商品、古紙商品等の影響により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

段ボール原紙は、国内景気の悪化に伴う需要減少、及び4月からの販売単価下落により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

段ボールは、昨秋以降の景気悪化の影響を受けて自動車及び電機産業を始めとした需要減退、及び4月からの販売単価下落により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

ベビー用紙おむつは、「GOO. Nトレーニングパンツ」「GOO. Nトレーニングパッド」のトレーニング機能の向上とパッケージデザイン刷新によるリニューアル、テープタイプ・パンツタイプの期間限定の企画品販売及び東アジアを中心とした輸出拡大により、販売数量・金額とも前年同期を上回りました。

大人用紙おむつは、「アテントうす型パンツすっきり快適」の薄型化、「アテント尿取りパッドスーパー吸収」への香りの付加といった機能性強化のリニューアルを実施し、新規顧客の獲得と配荷拡大に努めた結果、販売数量・金額とも前年同期を上回りました。

生理用ナプキンは、「Megami軽い日用・夜用」を発売し、品揃え強化による顧客獲得を行った結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,115百万円増加し、716,158百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,516百万円増加し、585,958百万円となりました。主な増加要因は、資金調達の増加によるものです。

純資産は、130,200百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2%増加し、15.0%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日に発表しました連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表の別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないため、前連結会計年度に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,340	98,918
受取手形及び売掛金	103,044	103,590
商品及び製品	39,921	44,109
仕掛品	6,248	5,576
原材料及び貯蔵品	18,739	19,156
その他	13,629	9,950
貸倒引当金	△580	△623
流動資産合計	293,342	280,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,199	77,208
機械装置及び運搬具(純額)	170,591	175,108
土地	87,915	86,201
その他(純額)	17,598	17,183
有形固定資産合計	352,305	355,701
無形固定資産		
のれん	13,210	13,400
その他	2,978	3,012
無形固定資産合計	16,189	16,412
投資その他の資産	54,217	53,101
固定資産合計	422,712	425,215
繰延資産	102	108
資産合計	716,158	706,003

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,993	41,856
短期借入金	67,405	68,571
1年内返済予定の長期借入金	80,165	78,414
未払法人税等	2,899	2,759
引当金	2,615	4,418
その他	47,345	45,459
流動負債合計	238,425	241,480
固定負債		
社債	41,181	51,120
長期借入金	281,618	261,510
長期設備関係未払金	7,812	8,326
退職給付引当金	13,382	13,462
役員退職慰労引当金	1,105	1,182
その他	2,432	2,358
固定負債合計	347,533	337,961
負債合計	585,958	579,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	63,394	62,826
自己株式	△3,576	△3,568
株主資本合計	119,634	119,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,417	△4,692
為替換算調整勘定	△9,026	△9,667
評価・換算差額等合計	△12,443	△14,359
少数株主持分	23,009	21,845
純資産合計	130,200	126,561
負債純資産合計	716,158	706,003

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	116,842	104,627
売上原価	93,342	81,702
売上総利益	23,499	22,925
販売費及び一般管理費	19,328	17,588
営業利益	4,171	5,336
営業外収益		
受取利息	129	93
受取配当金	275	611
補助金収入	450	170
その他	646	406
営業外収益合計	1,501	1,282
営業外費用		
支払利息	2,272	2,273
その他	342	754
営業外費用合計	2,614	3,028
経常利益	3,058	3,590
特別利益		
投資有価証券売却益	21	0
国庫補助金	—	794
貸倒引当金戻入額	74	64
その他	2	26
特別利益合計	98	885
特別損失		
固定資産圧縮損	—	752
役員退職慰労金	1,452	—
役員退職慰労引当金繰入額	970	—
その他	374	178
特別損失合計	2,797	931
税金等調整前四半期純利益	359	3,545
法人税、住民税及び事業税	1,528	2,534
法人税等調整額	△906	△944
法人税等合計	622	1,589
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△958	982
四半期純利益	695	972



- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 大王製紙株式会社

コード番号 3880 URL <http://www.daio-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井川 意高

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 魚田 敏夫

TEL 0896-23-9006

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	104,627	△10.5	5,239	28.0	3,493	17.2	871	21.6
21年3月期第1四半期	116,842	-	4,093	-	2,980	-	716	-

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.03	-
21年3月期第1四半期	5.70	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	720,221	135,134	15.6	904.69
21年3月期	710,191	131,596	15.5	885.48

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 112,124百万円 21年3月期 109,751百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	-	5.00	-	3.50	8.50
22年3月期	-				
22年3月期 (予想)		4.00	-	4.50	8.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結 累計期間	205,000	△13.2	9,000	1.8	5,500	△7.1	2,000	23.9	16.14
通期	425,000	△8.8	20,500	12.0	13,000	19.6	3,500	-	28.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第1四半期 129,018,785株 21年3月期 129,018,785株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 5,082,050株 21年3月期 5,072,881株

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第1四半期 123,941,320株 21年3月期第1四半期 125,696,763株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 平成21年4月30日に公表しました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも修正しました。業績予想に関する事項につきましては、本日公表の別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内経済は、米国発の金融危機に端を発した昨秋からの世界的な景気低迷が続き、雇用環境の悪化、個人消費の伸び悩みなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のなかで、当社グループでは、高付加価値商品の開発・拡販を推進し、既存設備の生産効率の向上や物流の合理化などの諸施策の実施により、収益力の強化を図りました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

連結売上高	104,627 百万円	(前年同期比	10.5 %減)
連結営業利益	5,239 百万円	(前年同期比	28.0 %増)
連結経常利益	3,493 百万円	(前年同期比	17.2 %増)
連結四半期純利益	871 百万円	(前年同期比	21.6 %増)

主な品種別の販売状況は、以下のとおりです。

新聞用紙は、広告出稿量の減少により頁数が減少し、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

印刷用紙は、各企業の広告宣伝費圧縮に伴いチラシ・カタログなどの需要が減少したことにより、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

衛生用紙は、「エリエールティッシュー180W」を30周年企画ボックスティッシューとして発売したこと、高付加価値品であるプリントトイレットティッシューのリニューアル等による配荷拡大を進めましたが、昨秋以降の経済環境の変化及び安い価格帯の輸入商品、古紙商品等の影響により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

段ボール原紙は、国内景気の悪化に伴う需要減少、及び4月からの販売単価下落により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

段ボールは、昨秋以降の景気悪化の影響を受けて自動車及び電機産業を始めとした需要減退、及び4月からの販売単価下落により、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。

ベビー用紙おむつは、「GOO. Nトレーニングパンツ」「GOO. Nトレーニングパッド」のトレーニング機能の向上とパッケージデザイン刷新によるリニューアル、テープタイプ・パンツタイプの期間限定の企画品販売及び東アジアを中心とした輸出拡大により、販売数量・金額とも前年同期を上回りました。

大人用紙おむつは、「アテントうす型パンツすっきり快適」の薄型化、「アテント尿取りパッドスーパー吸収」への香りの付加といった機能性強化のリニューアルを実施し、新規顧客の獲得と配荷拡大に努めた結果、販売数量・金額とも前年同期を上回りました。

生理用ナプキンは、「Megami軽い日用・夜用」を発売し、品揃え強化による顧客獲得を行った結果、販売数量・金額ともに前年同期を上回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,029百万円増加し、720,221百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,492百万円増加し、585,087百万円となりました。主な増加要因は、資金調達増加によるものです。

純資産は、135,134百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.1%増加し、15.6%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日に発表しました連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表の別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算定しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないため、前連結会計年度に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しています。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,340	98,918
受取手形及び売掛金	103,044	103,590
商品及び製品	39,921	44,109
仕掛品	6,248	5,576
原材料及び貯蔵品	18,739	19,156
その他	13,744	10,064
貸倒引当金	△580	△623
流動資産合計	293,457	280,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,648	77,657
機械装置及び運搬具(純額)	170,738	175,255
土地	85,152	83,438
その他(純額)	17,700	17,285
有形固定資産合計	350,240	353,636
無形固定資産		
のれん	15,762	16,049
その他	2,978	3,012
無形固定資産合計	18,741	19,061
投資その他の資産	57,679	56,591
固定資産合計	426,661	429,290
繰延資産	102	108
資産合計	720,221	710,191

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,993	41,856
短期借入金	67,405	68,571
1年内返済予定の長期借入金	80,165	78,414
未払法人税等	2,899	2,759
引当金	2,615	4,418
その他	47,345	45,459
流動負債合計	238,425	241,480
固定負債		
社債	41,181	51,120
長期借入金	281,618	261,510
長期設備関係未払金	7,812	8,326
退職給付引当金	13,382	13,462
役員退職慰労引当金	1,105	1,182
その他	1,561	1,511
固定負債合計	346,662	337,114
負債合計	585,087	578,594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,415	30,415
資本剰余金	29,402	29,402
利益剰余金	68,327	67,861
自己株式	△3,576	△3,568
株主資本合計	124,568	124,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,417	△4,692
為替換算調整勘定	△9,026	△9,667
評価・換算差額等合計	△12,443	△14,359
少数株主持分	23,009	21,845
純資産合計	135,134	131,596
負債純資産合計	720,221	710,191

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	116,842	104,627
売上原価	93,342	81,702
売上総利益	23,499	22,925
販売費及び一般管理費	19,406	17,686
営業利益	4,093	5,239
営業外収益		
受取利息	129	93
受取配当金	275	611
補助金収入	450	170
その他	646	406
営業外収益合計	1,501	1,282
営業外費用		
支払利息	2,272	2,273
その他	342	754
営業外費用合計	2,614	3,028
経常利益	2,980	3,493
特別利益		
投資有価証券売却益	21	0
国庫補助金	—	794
貸倒引当金戻入額	74	64
その他	2	21
特別利益合計	98	881
特別損失		
固定資産圧縮損	—	752
役員退職慰労金	1,452	—
役員退職慰労引当金繰入額	970	—
その他	275	178
特別損失合計	2,698	931
税金等調整前四半期純利益	380	3,443
法人税、住民税及び事業税	1,528	2,534
法人税等調整額	△906	△944
法人税等合計	622	1,589
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△958	982
四半期純利益	716	871



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。